

原因からみる海難 その5 (最終回) **整備不良**

「整備不良」とはエンジンの点検・整備が不良のことで、主に機関故障海難の原因となります。

整備の重要性

■洋上でのエンジントラブルは乗組員を危険にさらします。もし風下が岩場なら、風に漂う船は乗組員ともども大きなダメージを受けることになりかねません。

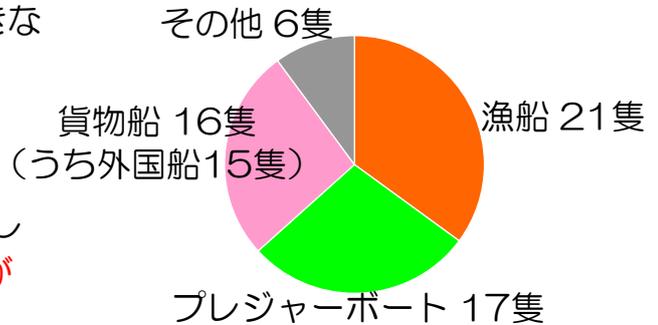
安全な運航には適切な整備が必要です。

安全運航のために

■過去5年間に於ける整備不良が原因の海難は60隻でしたが、多くは適切な整備をしていれば未然に防ぐことができたものです。

日頃からエンジンの点検・整備を行うほか、燃料や冷却水、潤滑油などに対する発航前点検を実施するようにしましょう。

整備不良が原因の用途別海難隻数 (H19~H23)



故障の例

- ・燃料フィルタの目詰まりによる機関停止
- ・点火プラグの不良でエンジン始動不可
- ・クーラント不足によるオーバーヒート

全国海難防止強調運動<7月16日~7月31日>

平成24年度は次のことを重点項目として実施します。

①「見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進」

一管区内における衝突海難の原因は、見張り不十分が約6割を占めており、依然として後を絶たない状況です。これら海難を減らすため、常時適切な見張りを徹底しましょう。

また、安全な操船を行うため、次の手段により早期に船舶間の意思疎通や相手船の動向把握を図りましょう。

- 1 「VHFや汽笛信号等の活用」
- 2 「AIS情報の活用と正しい情報入力」
- 3 「相手船にわかりやすい早めの動作」

②「小型船の安全対策の徹底」

一管区内で約8割を占める小型船（漁船、プレジャーボート、遊漁船）による海難を減少させるため、次の安全対策を徹底しましょう。

- 「発航前点検」
- 「航行中のみならず操業・作業中も含めた見張り」
- 「気象海象の入手」
- 「ライフジャケット着用等自己救命策の確保」

定置網の乗揚げに注意

北海道沿岸海域には多くのさけ定置網やホタテ養殖施設が設置されていますので、次の点について注意しましょう。

- 沿岸近くを航行する船舶はこれら漁具に留意しましょう。
- 船舶運航関係者は漁具設置情報を確実に取扱船舶へ伝えましょう。
- 海上保安部MICSホームページで設置場所を確認しましょう。

海難  への願い

2012 7/16~7/31

全国海難防止強調運動



お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2615, 2616)

6月の海難隻数及び海難による死者・行方不明者数 (速報値)

1.5隻、3名

平成24年累計 (速報値)
49隻、7名